

シンボルツリー「フラタナス」を 維持するために 剪定しました

校歌にも歌われる児童昇降口前にあるプラタナス。落雷で幹の芯の部分が焼けてしまったと聞いていますが、幹は根元まで完全に空洞化しているにもかかわらず、周りの表皮部分だけで奇跡的に生きながらえています。

しかし、枝を支える表皮に裂け目ができ、危険な状態に見えます。他県では大きな事故も起きていますので、町教育委員会と相談して、9月1日（木）に、枝を剪定していただきました。新たに伸びていた枝を伐採してあり、裂け目は



そのままですが、若枝で重量が軽い間はこの表皮で支えられそうです。

とはいえ、児童昇降口前で人がよく通る場所ですので、今後どのように安全確保をしていくか、課題は残っています。子どもたちの安全を最優先に、できる対策を継続していきます。

4年 水生生物出前講座 きれいな内田川を再発見！

9月2日（金）、熊本県環境センターから平尾先生、エコア熊本から佐野さん、吉村さんに来ていただき、4年生が内田川で水生生物の学習をしました。



みんなで柴尾橋まで出かけていき、川底の石の底についている底生生物を採取しました。学校に戻って生物をトレイに移すと、虫眼鏡での観察です。内田川には、快適な水環境にすむ生物がたくさん生息していることが分かりました。内田川は、みんなの予想以上にきれいな川であることが分かり、これからもこの環境を守りたいと考えることができました。



辞書ノートの取組で 語彙力アップを めざしています

夏休み明けから辞書ノートの活用を始めました。辞書とノートを入れる袋を準備し、教室の自分の机の横に常時かけています。1～2年生は低学年用の辞書で調べた語句をノートに書き写します。3～6年生は辞書で調べた語句とその意味を書き写していきます。授業中はもちろん、休み時間、テスト終わりの空き時間などに自分たちで時間を見つけて進んで取り組んでいる姿も見られます。

大人にとってはありふれた言葉でも、初めて触れる子どもにとっては言葉も新鮮な興味の対象です。これからどんどん色々な言葉に触れて語彙力を豊かにしていくことで、子どもたちの理解力、思考力、表現力の向上、深化につなげていきます。



情報モラル授業 ネット社会を安全に過ごすために

1人1台タブレットPCの活用を進めています。家庭への持ち帰りもしていますが、この機会に、3～6年生の各学年ごとに情報モラルの授業を行いました。ICT支援員の高山さんを講師に、ネット社会で自分を守るための知識と対策を教えてくださいました。スマートフォンやタブレットを使うことは家庭でも日常化しています。ネットウイルス感染や年齢制限、課金、書き込み内容（言葉遣いや写真の危険性）、パスワードの保管など、どれも大切な事ばかりでした。ご家庭でもぜひ話題にして、家族での約束を決めたり、危険性を回避する方法を一緒に考えたりして、情報化社会を賢く生きていく力を育てていただきたいと思います。

